

## 4-1-10-6 新生児科

### 1. 概要、特色

#### 1.1 全ての分娩に立会いと生直後よりすべての新生児の医療を担当

正常分娩をも含めてすべての分娩に立会い、生直後より全ての新生児の医療を新生児科医が担当することにしており、児の退院までの期間、新生児科医が責任を持って個々の児に対処するようにしている。

#### 1.2 重症な未熟児症例の医療を担当

母体搬送の促進によって、院内出生による超早産・超低出生体重児、TTTS や、母体合併症に伴う早産児、早産 IUGR 児に対するいわゆる未熟児医療を行っている。

#### 1.3 重症な新生児症例の医療を担当

他科の協力の下、広範囲にわたる合併症や複雑な疾患を持つ重症新生児に対しての最先端の医療を行っている。

### 2. 診療活動、研究活動

#### 2.1 Intermediate Care

正常分娩から、High Risk 妊娠分娩まで、全ての当院周産期診療部でのお産に分娩立会いを行い、正常時も含めて、全ての新生児に対して、新生児科医が、出生直後から診療している。それにより児の状態把握がよりの確になり、病的徴候を見逃さずに早期から適切な医療的介入が可能となってきた。さらに、経過観察を充実させることで軽症から中等症の新生児疾患を持つ児の管理方法を安全でより効率の良いものとするための検討を行っている。本年度は、さらに当院助産師を対象に米国での新生児蘇生テキストに沿って新生児蘇生の講義、実習を行い、新生児の蘇生時には医師だけでなく、看護師も積極的に参加でき、新生児の安全性がさらに確保できるようになってきている。本年度新生児科が扱った総新生児数は、1456 例で、うち、432 例がとくに異常のない新生児として管理され(“赤ちゃん部屋入院“として扱っている)832 例が、新生児室入院として、産科病棟の新生児室で、入院治療を受けた。その内訳疾患は、VSD,軽度腎盂拡大、軽度脳室拡大が出生前に疑われた症例や、一過性多呼吸、軽度仮死、前期破水・母体 GBS・羊水混濁などによる新生児感染症、黄疸、哺乳不良などであった。これらの内 41 例はその後 NICU に入院して加療することとなった。新生児室入院の適応は、早産・低体重の基準は、37 週未満・2500g 未満であるが、母親が入院中に児が 35 週以上、2000g 以上あり、全身状態の改善がみられれば、母児同室も考慮し NICU からの転棟も積極的に受け入れている。

#### 2.2 早産・低出生体重児の医療

出生前診断と母体搬送の促進によって、院内出生による超早産・超低出生体重児、TTTS や、母体合併症に伴う早産児、早産 IUGR 児に対するいわゆる未熟児医療を行った。不妊治療などにより多胎児の増加がみられ、当院でも双胎 68 例(内子宮内 1 児死亡 8 件)、品胎 1 例を新生児科の管理を行った。本年度の生命予後に関する成績を、グラフ 1, 2 に示す。

#### 2.3 重症新生児医療

当院の特徴としては出生前診断のついている様々な新生児の入院が多く、他科の協力の下、広範囲にわたる合併症や複雑な疾患を持つ重症新生児に対しての最先端の医療を行っている。NICU に入院となった新生児の総数は 290 例で、院内出生 233 例、院外出生 57 例であった。うち、早産児は、171 例であった。NICU 入院患者のうち脳神経外科疾患、不整脈、心筋症を含む新生児心疾患、乳糜胸を含む新生児外科疾患、泌尿器疾患、整形外科疾患、染色体異常、その他の先天性異常の合併のある児は、各々 17 例、25 例、32 例、9 例、2 例、8 例、8 例であった。また、新生児心疾患と外科疾患の両方の合併奇形が 2 例にみられた。さらに、重症な新生児の呼吸不全などで、HFO や、NO などの高度の先進的な治療を要した患者は、各々 10 例と 2 例であった。また、重症新生児仮死

(全てが院外出生)症例3例に対して、脳低温療法を施行し、比較的良好な成績を上げている。

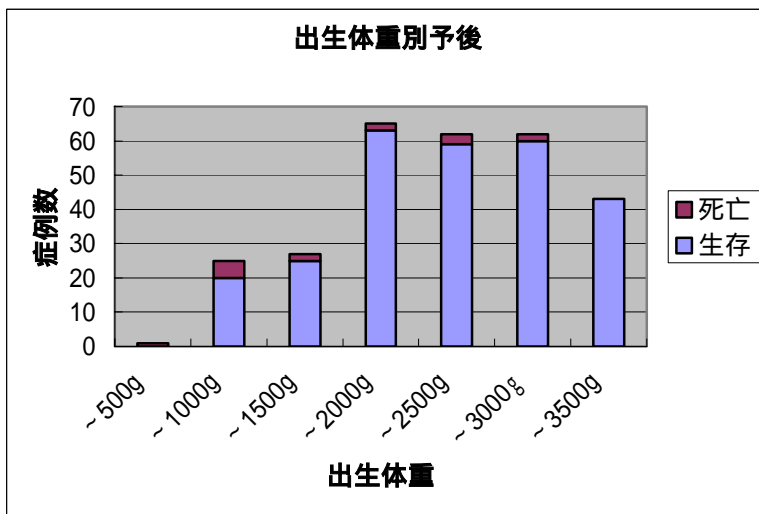
## 2.4 その他

NICUのベッド運用に関しては、産科病棟新生児室の病児ベッドの効率的な運用、および、一般小児病棟への有機的な転棟のシステムの確立に努力した。NICUから、一般病棟への転棟患者数は45名で、NICU入院患者の15%に相当した。

病棟には、感染を起こしやすい外科疾患の患者と、感染に弱い早産児や外科疾患を持った早産児が入院しておりMRSAを含めた水平感染が起きやすい環境であるために、医師と看護師が協力して水平感染の撲滅のための感染対策を院内ICTの協力のもと行っており、今後も地道な努力が必要と思われる。

今シ - ズンのRSウイルス予防のシナジスを107名の新生児に行った。

(グラフ 1)



(グラフ 2)

